

# 令和7年度 女性の職業選択に資する情報公表（女性活躍推進法第21条関係）

特定事業主名： 川南町

令和8年6月30日公表

## I 職員の男女の給与の額の差異

### 1. 全職員に係る情報

| 職員区分              | 男女の給与の差異<br>(男性の給与に対する女性の給与の割合) |
|-------------------|---------------------------------|
| 任期の定めのない常勤職員      | 89.3%                           |
| 任期の定めのない常勤職員以外の職員 | 91.6%                           |
| 全職員               | 70.0%                           |

### 2. 「任期の定めのない常勤職員」に係る役職段階別及び勤続年数別の情報

- \* 地方公共団体における「任期の定めのない常勤職員」の給料については、各地方公共団体の条例で定める給料表に基づき決定されており、同一の級・号給であれば、同一の額となっている。

#### (1) 役職段階別

| 役職段階        | 男女の給与の差異<br>(男性の給与に対する女性の給与の割合) |
|-------------|---------------------------------|
| 本庁部局長・次長相当職 | —                               |
| 本庁課長相当職     | 93.8%                           |
| 本庁課長補佐相当職   | 95.8%                           |
| 本庁係長相当職     | 103.7%                          |

#### (2) 勤続年数別

| 勤続年数   | 男女の給与の差異<br>(男性の給与に対する女性の給与の割合) |
|--------|---------------------------------|
| 36年以上  | 90.4%                           |
| 31～35年 | 88.2%                           |
| 26～30年 | 87.9%                           |
| 21～25年 | 87.6%                           |
| 16～20年 | 86.1%                           |
| 11～15年 | 95.9%                           |
| 6～10年  | 98.1%                           |
| 1～5年   | 96.4%                           |

### 【説明欄】

会計年度任用職員の9割以上が女性職員であるため、会計年度任用職員を含めた全職員で見ると、3割の差異となる。

任期の定めのない常勤職員（正職員）では、全体で1割程度の給与格差がある。全員女性である保育士の多くが係長級以下となるため、職位構成に大きな影響を与えている。同じ理由で勤続年数別でも16年以上の層から影響が出ている。

Ⅱ 管理的地位にある職員に占める女性職員の割合

| 区分         | 令和7年度  |
|------------|--------|
| 管理的地位にある職員 | 7. 1 % |

【説明欄】

女性の管理職は1名である。

Ⅲ 各役職段階にある職員に占める女性職員の割合

| 区分          | 令和7年度   |
|-------------|---------|
| 本庁部局長・次長相当職 | —       |
| 本庁課長相当職     | 7. 1 %  |
| 本庁課長補佐相当職   | 21. 4 % |
| 本庁係長相当職     | 51. 5 % |

【説明欄】

係長級までは女性職員の割合が高いものの、上位の職位になるにつれて女性職員の割合は低くなっている。

課長級には組織マネジメントや政策形成など高度な能力が求められることから、男女問わず職員が管理職として活躍できるよう、計画的な人材育成やキャリア形成支援、管理職への意識醸成を継続して行っていく。

#### Ⅳ 男女別の育児休業取得率及び男女別の育児休業の取得期間の分布状況

##### 1. 男女別の育児休業取得率

###### (1) 常勤職員

| 区分 | 令和7年度 |
|----|-------|
| 男性 | 100 % |
| 女性 | 100 % |

###### (2) 会計年度任用職員

| 区分 | 令和7年度 |
|----|-------|
| 男性 | — %   |
| 女性 | 100 % |

##### 2. 男女別の育児休業の取得期間の分布状況

| 区分         | 常勤職員   |        | 会計年度任用職員 |       |
|------------|--------|--------|----------|-------|
|            | 男性     | 女性     | 男性       | 女性    |
| 1週間未満      | —      | —      | —        | —     |
| 1週間以上2週間未満 | 33.3 % | —      | —        | —     |
| 2週間以上1月以下  | 33.3 % | —      | —        | —     |
| 1月超3月以下    | 33.3 % | —      | —        | —     |
| 3月超6月以下    | —      | —      | —        | —     |
| 6月超9月以下    | —      | —      | —        | —     |
| 9月超12月以下   | —      | 85.7 % | —        | 100 % |
| 12月超24月以下  | —      | —      | —        | —     |
| 24月超       | —      | 14.3 % | —        | —     |

#### 【説明欄】

全職員に「育児・介護の手引き」を配布し、育児休業制度への理解促進を図るとともに、対象職員に対して制度説明を行い、業務の事前調整や円滑な引継ぎを進めている。これらの取組が、高い育児休業取得率につながっていると考えられる。

## V 職員の勤務時間の状況

管理的地位にある職員以外の職員一人当たりの一月当たりの正規の勤務時間を  
超えて命じられて勤務した時間

| 区分      | 令和7年度    |
|---------|----------|
| 内部部局等   | 4.1 時間／月 |
| 内部部局等以外 | 5.9 時間／月 |

### 【説明欄】

単月で時間外勤務が45時間を超えた職員は、国の交付金事業、災害対応、選挙事務等に従事した9名であった。総務課では、時間外勤務の状況を把握し、管理職との情報共有を通じて、時間外勤務の常態化防止に努めている。